



2025年8月期 決算説明資料

株式会社ウエストホールディングス
(東証スタンダード市場 証券コード：1407)

2025年10月24日（金）

1・企業概要

2・2025年8月期決算概要

3・2026年8月期決算見通し・中期展望

1・企業概要

2・2025年8月期決算概要

3・2026年8月期決算見通し・中期展望



会社理念

ウエストグループに働く人は皆、
豊かで幸福でなければならない。
そのためには常に変化に挑み、
無限の可能性を信じ
顧客に満足願える仕事を通じて
社員の幸福を増進し
会社の発展と繁栄を念願する
ものである。

この企業理念と毎日向かい合い、
日々新たな気持ちで経営に取り組んでいます。

株式会社ウエストホールディングス
代表取締役会長 吉川 隆

ウエストグループがあるべき姿として、掲げる理想であり、ウエストグループが生まれた理由です。
創業から一貫して持ち続け、これからも変わることはありません。
「ウエストグループに働く人は皆、豊かで幸せでなければならない。」ウエストのすべての企業活動は、このためにあります。

[純粋持ち株会社]

商号	株式会社ウエストホールディングス (東京証券取引所(スタンダード)証券コード: 1407)
本社所在地	(広島本社) 広島市西区楠木町1丁目15番24号 (東京本社) 東京都千代田区丸の内1丁目6番5号 丸の内北口ビルディング20階
設立	2006年3月1日(創業: 1981年10月27日) [会社設立: 1984年5月30日、持株会社設立: 2006年3月1日]
代表者	代表取締役会長(CEO) 吉川 隆 代表取締役社長 江頭 栄一郎 代表取締役専務 荒木 健二
資本金	20億2,091万円(2025年8月末現在)
事業内容	太陽光発電所・系統用蓄電所・省エネサービスの企画～施工～メンテナンス～リサイクルまでの再エネを中心としたエネルギーソリューション事業を展開するグループ事業会社の包括的なマネジメント

[主な事業子会社]

WEST GROUP 株式会社ウエストエネルギーソリューション

- ・住宅用、公共・産業用太陽光発電市場の開拓
- ・太陽光発電事業(自社所有の発電所)
- ・産業用・非FIT発電所の企画・設計・販売・施工
- ・省エネ設備の設計・施工
- ・系統用蓄電所の企画・設計・販売・施工

WEST GROUP 株式会社ウエストビギン

- ・太陽光発電システムの商品開発、物流

WEST GROUP 株式会社ウエスト O&M

- ・太陽光発電所の運用改善(オペレーション)
- ・太陽光発電所の保守・管理・監視サービス(メンテナンス)

WEST International(Thailand)Co.,Ltd.

- ・タイを中心としたASEAN諸国でのエネルギーソリューションサービス

WEST GROUP 株式会社ウエストグリーンパワー

- ・再生可能エネルギーの買取、卸売り

WEST GROUP 株式会社ウエストエナジー

- ・非FIT発電所の系統連系協議、自己託送対応

ウエストグループは、時代の変化とともに「朝令朝改」。ウエストグループは、常に「変化の創造」

1981年	1983年	1985年	1993年	1995年	2005年
住宅建材商社	アフターメンテナンス	屋根瓦工事実績 日本一	コンクリート建造物の 耐震診断・補修	企画型住宅の販売	家庭向け オール電化・ 太陽光発電システム
広島市に 西日本鐘商を創業	アフターメンテナンス 事業を開始	瓦事業部を設立 2002年 芸予地震の影響を受けた 広島城天守閣屋根瓦工事を受注	ビルの耐震診断・補修事業を開始 阪神淡路大震災後のビル復旧工事を 受託 (施工実績) 兵庫県庁、神戸市役所 そごう ほか	企画型住宅 骨太住宅の販売を 開始 樹木希林さんをイメージキャラク ターとして全国CM放映	ヤマダ電機と業務提携 店舗内にリフォームコーナーを展開
					
2012	2015	2016	2020	2022	2024
メガソーラー	省エネルギー事業	海外（アジア）事業	非FIT発電所	サステナブルスタンダードを 販売開始	蓄電所関連事業
メガソーラーの 企画・開発・施工を 開始	省エネルギー事業「ウエストエスコ」 サービスを開始 2018年 排出権取引 (Jクレジット)を開始	タイに子会社を設立 ASEANで太陽光・省エネ 事業を展開	非FIT発電所の開発を開始 非FIT電源の取り扱い会社 ウエストグリーンパワーを 設立	CO2排出量の可視化、 カーポート型太陽光発電、自 己託送制度などをパッケージと したサービスを開始	系統用 蓄電所事業を開始。 特別高圧・高圧の系統用蓄 電所を開発・建設・販売
					

メガソーラーから家庭用まで太陽光発電所の豊富な施工実績。 創業時からの祖業である「アフターメンテナンス」でサポートします

太陽光発電 74,437ヶ所・3,087,990kW

O&M受託数 8,327ヶ所・1,368,500kW

高圧発電所



327 カ所

456,414 kW

水上ソーラー



16 カ所

21,425 kW

自治体ソーラー



751 カ所

25,560 kW

産業用ソーラー



14,116 カ所

1,693,920 kW

住宅用ソーラー



53,402 件

261,670 kW

営農型太陽光



87 カ所

8,700 kW

ウエストタイ



210 カ所

122,148 kW

低圧発電所



5,528 カ所

498,153 kW



平日は5名～6名、土日祝祭日は2名体制で発電所を監視。
発電停止、出力制御、盗難などのネガティブ情報を
いち早くキャッチし、最短での復旧を心がけています。

1・企業概要

2・2025年8月期決算概要

3・2026年8月期決算見通し・中期展望

単位：百万円	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2025年8月期	前期比
	通期実績	通期実績	通期実績	通期計画	
売上高	43,734	50,390	47,250	56,418	93.80%
営業利益	8,499	10,597	8,646	13,221	81.60%
営業利益率	19.43%	21.03%	18.30%	23.43%	
経常利益	7,972	9,956	7,961	11,921	80.00%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,016	6,757	5,357	8,010	79.30%

単位：百万円	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2025年8月期	前期比
	通期実績	通期実績	通期実績	通期計画	
■再生可能エネルギー事業	34,147	41,650	32,267	47,768	77.50%
■蓄電所事業	—	—	5,711	—	—
■省エネルギー事業	2,133	1,564	1,156	1,500	73.90%
■グリーン電力卸売	462	918	1,547	1,000	168.50%
■自社売電事業	4,268	4,223	4,613	4,160	109.20%
■メンテナンス事業	1,860	2,035	1,952	1,990	95.90%
■その他	864	0	4	0	—
計	43,734	50,390	47,250	56,418	93.80%

蓄電所事業

- 2027年8月期以降の本格展開を視野に蓄電所開発事業に着手も、**想定を超えるスピードでマーケットが急拡大。**
今後の市場地位確保のため早急かつ一気に開発案件を固める必要が生じたため、主に**非FIT発電所開発事業より経営資源を大きく振り向ける**ことを決断。
- **TMEIC（ティーマイク。東芝と三菱電機の合併会社）との業務提携契約**を締結。当面の蓄電システム、エネルギーマネジメントシステム、受変電設備を確保し、開発用地の選定、電力申請、開発許認可等、集中的取り組み実施。短期間でパイプラインの大幅な拡充に成功。
- 第4四半期において、**高圧蓄電所 約57億円の売上。**

再生可能エネルギー事業

産業用太陽光（自家消費型）

- 2022年の世界的エネルギー価格の高騰を契機とする短期的需要の剥落後、売上高は着実な上昇トレンドとなったものの、期待水準には及ばず、**売上高は前年比 23%減の約94億円。**
- 大手企業の本格的なカーボンニュートラルへの取り組みが拡大するも契約までのリードタイムが長期化。
- 2025年8月期の売上高推移は、
〈1Q〉15.9億円⇒〈2Q〉20.3億円⇒〈3Q〉21.2億円⇒〈4Q〉33.0億円

非FIT発電所（ウエストFIT）

- 上半期は概ね計画通り進捗も、下半期中の蓄電所事業向けの人員を中心とする経営資源の大幅シフトにより、施工・販売能力共に大きく減少。
- 気候変動による豪雨災害等を配慮した施工品質の向上を重視したため完成までのリードタイムが長期化。
- 一方で従来より大口2社にとどまっていた**販路は6社に拡大。**
- 売上高は**前年比28%減の約189億円。**

自社売電事業

- ケーブル盗難が相次ぎ、復旧期間中の売電機会の逸失に見舞われた前年度に対し、矢継ぎ早の各種対策の奏功により被害件数は大きく減少。
- 出力規模 約27MWのメガソーラー（埼玉県長瀬メガソーラー）を取得し、第4四半期より業績寄与、**売上高は前年比9%増の約46億円。**

海外事業（ウエストタイ）

- 日系現地法人の旺盛な需要に支えられ、引き続き順調に業容拡大中。事業構成における E P C シェアも引き続き増加。
- **売上高は前年比38%増の約28億円。**

省エネルギー事業

- LED・空調設備等のウエストエスコ資産残高の漸減により、**売上は減少傾向。**
- 他方で、**請負工事での冷凍制御システムの販売は拡大。**

単位：百万円	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期
	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績
売上高	2,289	1,945	1,908	1,564	1,156
資産残高	4,623	4,351	4,266	3,650	2,698

メンテナンス事業（O&M）

- 自社の施工・開発件数の積み上げにより契約容量は順調に拡大。

	2024年8月期	2025年8月期
	通期実績	通期実績
売上高（百万円）	2,035	1,952
受託容量（MW）	1,281	1,417

1・企業概要

2・2025年8月期決算概要

3・2026年8月期決算見通し・中期展望

単位：百万円	2025年8月期	2026年8月期			前期比
	通期	上期	下期	通期	
	実績	予想	予想	予想	
売上高	47,250	16,050	38,410	54,460	115.30%
営業利益	8,646	1,843	9,533	11,376	131.60%
営業利益率	18.30%	11.50%	24.80%	20.90%	
経常利益	7,961	943	8,733	9,676	121.50%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,357	583	6,019	6,602	123.20%

単位：百万円		2025年8月期	2026年8月期			
		通期	上期	下期	通期	
		実績	予想	予想	予想	
■ 再生可能エネルギー事業		32,267	9,240	17,320	26,560	
	産業用太陽光発電所請負 （自家消費）	9,416	2,800	7,380	10,180	
	非FIT太陽光発電所開発 （ウエストFIT）	18,893	5,150	8,150	13,300	
	ウエストタイ	2,827	900	1,400	2,300	
	その他（賃収ほか）	1,131	390	390	780	
■ 蓄電所事業		5,711	3,000	15,000	18,000	
■ 省エネルギー事業		1,156	560	540	1,100	
■ 電力事業		6,161	2,300	4,500	6,800	
	グリーン電力卸売	1,547	700	1,500	2,200	
	自社売電	4,613	1,600	3,000	4,600	
■ メンテナンス事業		1,952	950	1,050	2,000	
計		47,250	16,050	38,410	54,460	

前期比
82.30%
108.10%
70.40%
81.40%
69.00%
315.20%
95.20%
110.40%
142.20%
99.70%
102.50%
115.30%

単位：百万円		2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期	2028年8月期
		実績	予想	参考値	参考値
ウエストグループ 総売上高		47,250	54,460	66,380	84,580
	■ 再生可能エネルギー事業	32,267	26,560	24,380	24,380
	産業用太陽光発電所請負（自家消費）	9,416	10,180	10,000	10,000
	非FIT太陽光発電所開発（ウエストFIT）	18,893	13,300	11,300	11,300
	ウエストタイ	2,827	2,300	2,300	2,300
	その他（賃収ほか）	1,131	780	780	780
	■ 蓄電所事業	5,711	18,000	31,800	50,000
	■ 省エネルギー事業	1,156	1,100	1,100	1,100
	■ 電力事業	6,161	6,800	7,100	7,100
	グリーン電力卸売	1,547	2,200	2,500	2,500
	自社売電	4,613	4,600	4,600	4,600
	■ メンテナンス事業	1,952	2,000	2,000	2,000
営業利益		8,646	11,376	14,006	18,026
（営業利益率）		18.30%	20.90%	21.10%	21.30%
経常利益		7,961	9,676	12,000	15,526

系統用蓄電所事業

- 再エネの導入や電力の安定供給に向け、再エネ電源の出力変動に応じて柔軟に充放電のできる設備として社会的重要性が大幅に増加。
- 補助金や長期脱炭素電源オークション等、政策の力強い後押しもあり、カーボンニュートラルを見据えた再エネの更なる導入拡大に向け、今後も重層性は一層拡大。

【系統用高圧蓄電所の売上高（単位：百万円）】

2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期	2028年8月期
実績	予想	参考値	参考値
5,711	18,000	31,800	50,000

系統用蓄電所の開発状況（2025年9月末時点）

【系統用高圧蓄電所の系統連系申請数】

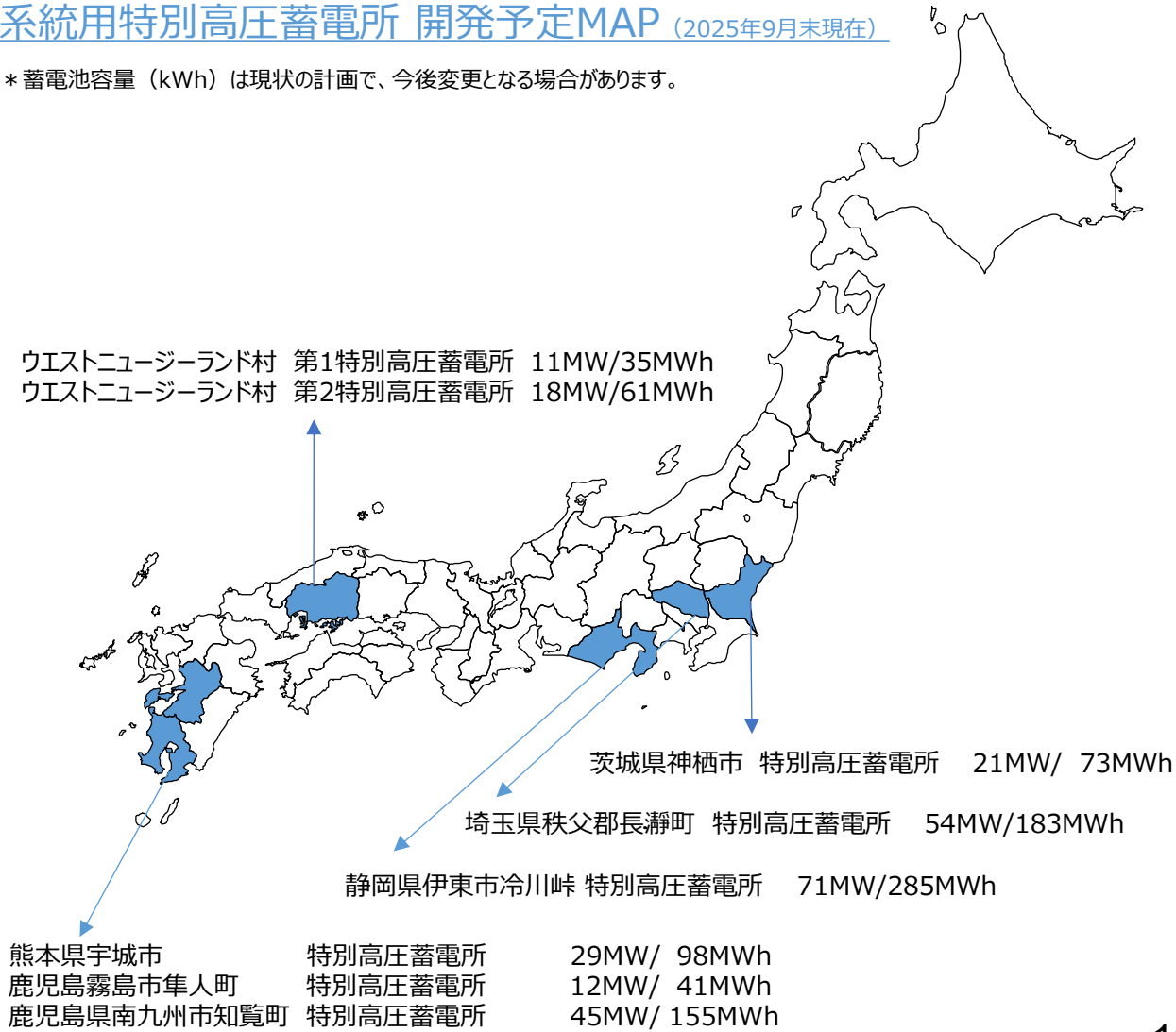
約400地点

【系統用特別高圧蓄電所の開発予定】
（2027年8月期より順次運転開始）

約1,000,000kWh

系統用特別高圧蓄電所 開発予定MAP（2025年9月末現在）

* 蓄電池容量（kWh）は現状の計画で、今後変更となる場合があります。



産業用太陽光請負 (自家消費)

- ・ 大手企業を中心とした脱炭素ソリューションへの取組みが本格化。
- ・ ナショナルチェーンとの商談が増加し、検討期間の長期化となるものの、将来の施工財産は増加傾向。
- ・ 大手企業の推進強化により、地方銀行から紹介をうける中小企業の脱炭素ソリューションへの取組みも加速。

【産業用太陽光請負（自家消費）の売上高（単位：百万円）】

2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期	2028年8月期
実績	予想	参考値	参考値
9,416	10,180	10,000	10,000

エリアドミナント戦略

金融機関

リース会社

会計事務所

エネルギー会社

ウエストグループの各支店所在地に脱炭素ソリューションを推進するビジネスマッチング契約を複層的に締結。幅広いニーズに対応しています。

商品ラインナップの多様化

幅広いニーズに対応するために、提供する商品ラインナップを多様化。多岐にわたるニーズに柔軟に対応しています。

<新たな商品ラインナップ>

- ・ソーラーカーポート
- ・軽量太陽電池モジュール
- ・JERAcross 余剰電力買取サービス など

非FIT太陽光発電所開発

- ・ 脱炭素ソリューションの取組が活況化し、需要は旺盛な状態が続く。
- ・ 発電所を保有する事業者は、南海トラフの影響もあり、「施工品質」を重視する傾向。
- ・ 送配電会社との連系期間の長期化も開発数の加速にブレーキ。
- ・ 地域密着型で、施工品質を重視した開発にシフト。

【非FIT太陽光発電所の開発数（単位：百万円）】

2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期	2028年8月期
実績	予想	参考値	参考値
18,893	13,300	11,300	11,300

非FIT太陽光発電所の販売先（2025年9月末時点）

[発電事業者]

中国電力、SMFLみらいパートナーズ、JERA、ENEOSリニューアブルエナジー、ほか

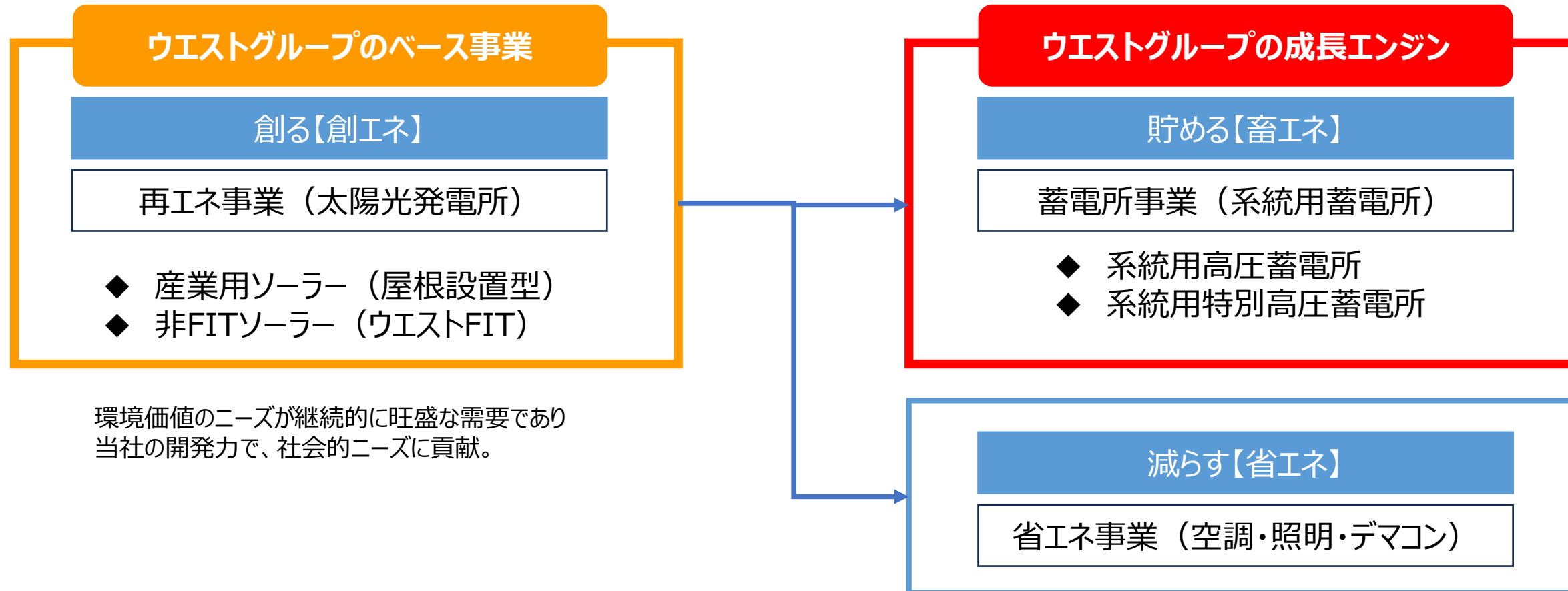
[最終需要家]

中国電力→イズミ、東北電力→大創産業、JERAcross→イオングループ、JERAcross→MUJI、JERAcross→Google ほか

「再エネ × 省エネ × 蓄電」で、日本の脱炭素社会を牽引する

私たちは、これまで培った再エネ・省エネ事業の実績を礎に、蓄電所事業を新たな成長の柱として本格的に展開いたします。

「再エネ × 省エネ × 蓄電」を融合し、地域社会・お客様・金融機関の皆さまと共に安定した電力供給と脱炭素社会の実現を目指します。



ウエストグループは[フローで攻めて][ストックで安定]の両輪戦略

ウエストグループは、各種太陽光発電所の開発・建設と系統用蓄電所の開発・建設で、フロービジネスを展開。売電収入・メンテナンス収入などが、フロービジネスの加速を下支えするストックビジネスの両輪の戦略です。

フロービジネス

太陽光発電所のEPC

屋根設置型太陽光発電



ソーラーカーポート



低圧非FIT発電所



高圧非FIT発電所



ソーラーシェアリング



系統用蓄電所のEPC

系統用高圧蓄電所



系統用特別高圧蓄電所

COMING
SOON

EPCとは、
「設計(Engineering)」
「調達(Procurement)」
「建設(Construction)」の頭文字をとったもの

ストックビジネス

電力事業・蓄電事業

FIT太陽光発電所（売電）



グリーン電力卸売



系統用蓄電所運営

COMING
SOON

メンテナンス事業

地上設置型メンテナンス



屋根設置型メンテナンス



蓄電所メンテナンス



エスコ事業（省エネ）

LED照明 設置



空調機器更新

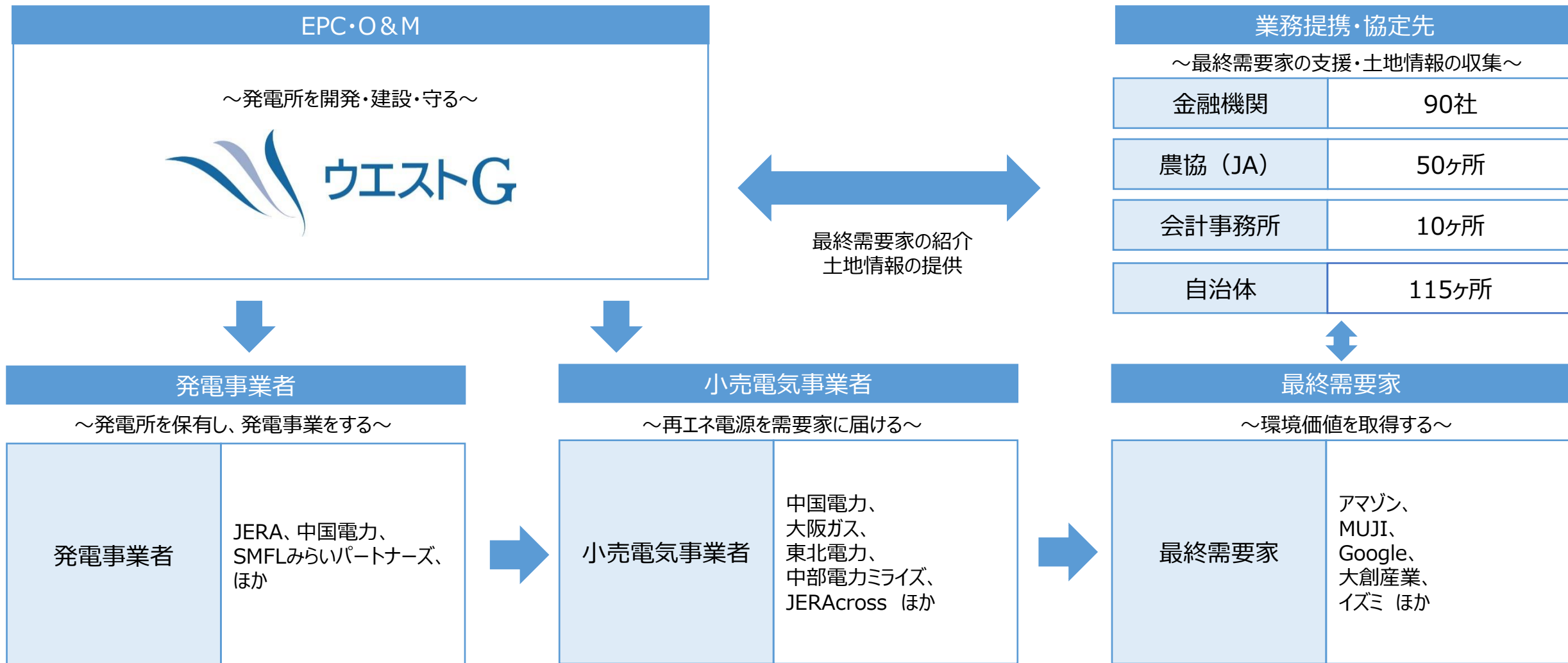


冷凍機制御システム



ウエストグループは再エネのプラットフォーム

ウエストグループは、脱炭素ソリューションの中心として、再エネのプラットフォームを目指します。
発電事業者、小売電気事業者、最終需要家を地域の複層的なパートナーとともにリンクします。



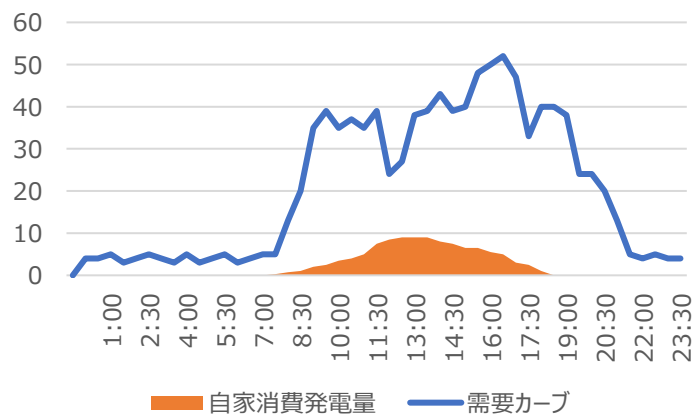
【自家消費】＋【オフサイトPPA】で需要家のニーズにお応えします

ウエストグループは、建屋の屋根に太陽光発電を設置し、再エネの絶対量が足りない需要家には、小売電気事業者を介して、「ウエストFIT」で発電した電気や環境価値を提供するスキームがあります。

STEP・1_屋根で電気を作る

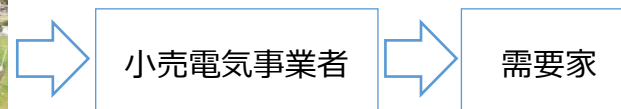


ウエストグループにて
需要家の建屋の屋根に
太陽光発電を設置

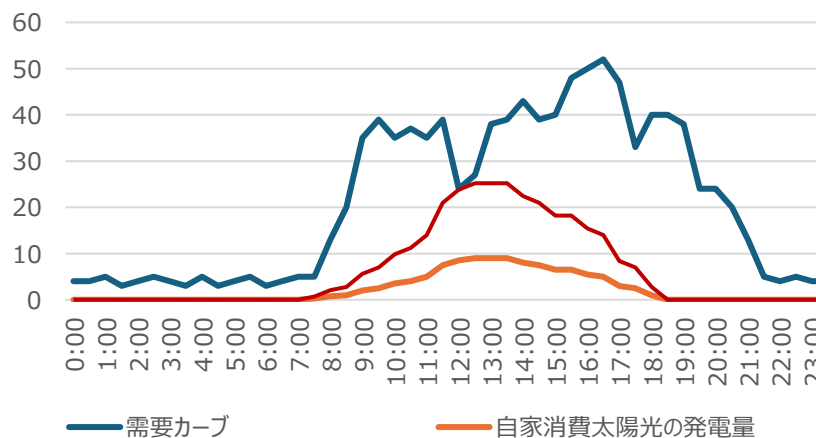


↑ オレンジの面積が再エネ導入量

STEP・2_足りない電気を調達する



ウエストグループが開発した「ウエストFIT発電所」より発電した電気を小売電気事業者を介して需要家へ再エネ電源を供給



↑ 再エネ比率がUP

STEP・3_使用量を下げる（省エネ）



STEP・4_電気を貯める（蓄電池）



STEP・5_再エネ価値を提供する

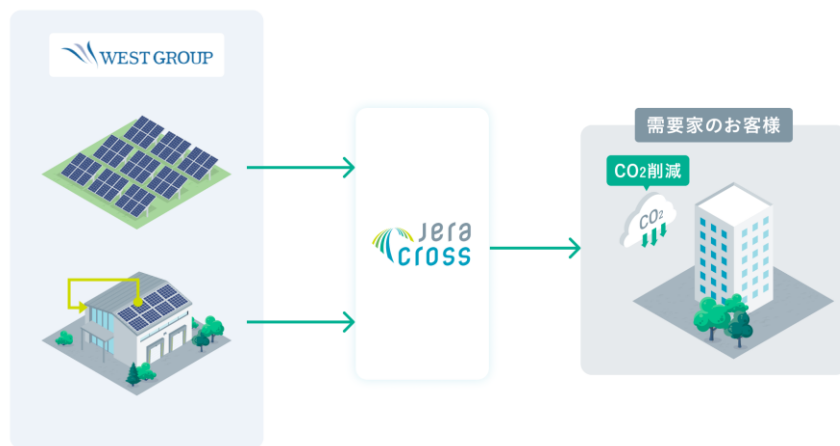
・
・
・

2050年のカーボンニュートラルに向けて、
いろいろなサービスや商品を提供し、
エネルギーソリューションを伴走します

ウエストグループは、日本の国土環境を配慮した開発をします

ウエストグループは、1MW以上の地上開発型の太陽光発電所の新規開発を抑制。
国土環境に配慮した開発をします。

JERAcrossとの屋根設置太陽光の余剰電気の活用 (2025年3月12日プレスリリース)



- ・ウエストグループが屋根設置した太陽光発電所からの余剰電力をJERAcrossに供給
- ・JERAcrossは、需要家に、買い取った電気を供給。
- ・最終需要家は、**造成工事が無い、木を切らないなどの開発行為が無い電源**として高く評価。
- ・2025年3月にスタートし、10,000kWを超える申し込み。

非FIT太陽光発電所の開発は環境・品質配慮型

【地上設置型 太陽光発電所の開発計画（2025年9月末現在）】

特別高圧 (出力：2 MW以上)	新規開発予定なし
高圧 【メガソーラー】 (出力：1 MW以上)	自社所有地 ウエストニュージーランド村 ソーラーパークの増設のみ (出力：1.5MW予定)
高圧 【メガ以下】 (出力：1 MW以下)	2025年8月末までに 開発許認可を得た案件に限る。 出力300～500kWが9件。
低圧 (出力：50kW以下)	法令をクリアし、大型造成のない 耕作放棄地等を中心として開発

ASEANのタイ王国で 脱炭素ソリューションを展開しています

ASEAN諸国は、電気代の高騰をきっかけに、日本よりも積極的に脱炭素化に関心が高い地域です。ウエストグループは、タイ王国で、日系企業に向けて、脱炭素ソリューションを展開しています。

累計契約実績は、日系企業でトップクラス（2025年9月末現在）

累計： 216契約 設置容量：124,384kW

新設・増設ニーズは引き続き活況。
今後は、地上設置・カーポート・蓄電池などラインナップを拡充。

「Krungsri ESG Awards」を3年連続で受賞！
（2023年・2024年・2025年）



「Krungsri ESG Awards」は、クルンシ（アユタヤ銀行）とチュラロンコーン大学のサシン大学院ビジネス管理学研究所によって共同で開催されるプログラムです。受賞企業は、プログラム全体を通じて付加価値を得ることができ、ESGエクスクルージブコーチングに参加し、自社のESGパフォーマンスを向上させるための専門家からの詳細なアドバイスを受けるなどの機会が提供されます。

自社ブランドの太陽電池モジュールで 長期の発電をサポートしています

太陽電池モジュールは、長期間にわたる発電が可能な商品です。
ウエストグループでは、委託工場で製造した商品を自社ブランドとして提供しています。

ウエストオリジナルブランド「TERAS」



ウエストグループのオリジナル太陽電池モジュール「TERAS」。当社の指定部材で生産委託（OEM）。25年の出力保証で発電事業をサポート。

設備機器の長期保証サービスを提供しています

- ・ 塩害保証 10年、設備機器 20年 保証サービスを開始。
- ・ ウエストグループ 施工実績 67,000件のデータを解析。
- ・ 大手損保会社にデータを提供し、保険商品を開発。

	自然故障	自然故障 + 塩害
対象機器	太陽光発電パッケージ式	
補償責任	自然故障	自然故障 + 塩害
補償期間	20年	自然故障20年 + 塩害故障10年

本資料は弊社グループの企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問合せ先



東京本社 経営企画部 IR担当

<https://www.west-gr.co.jp/contact/>

TEL : 03-6812-2501 (代表)